



# 北の空 無限の可能性

## 平成23年度全国高等学校総合体育大会

### 2011 熱戦再来 北東北総体

開催まであと  
**3**カ月

#### 北東北総体 自転車競技の日程

- 開会式 8月8日(月) 美郷総合体育館リリオス
- トラックレース 8月9日(火)~11日(木) 美郷町自転車競技場
- ロードレース 8月12日(金) 仙北市田沢湖周回特設コース

**町民の皆さんのご声援を!!**  
第57回秋田県高等学校総合体育大会が行われます

トラックレース 6月4日(土)・5日(日) 美郷町自転車競技場  
ロードレース 6月6日(月) 奥羽山荘周回道路

北東北総体の前哨戦となる第57回秋田県高等学校総合体育大会が6月上旬に開催されます。自転車競技は、トラックレースが6月4日から5日にかけて美郷町自転車競技場を会場に、ロードレースが6日に奥羽山荘周回道路をコースに行われます。美郷町出身の高校生たちも出場しますので、町民の皆さんの温かいご声援をお願いします。

■秋田県で唯一の自転車競技場  
美郷町自転車競技場

#### 北東北総体へ向けて始動 六郷高等学校 自転車競技部

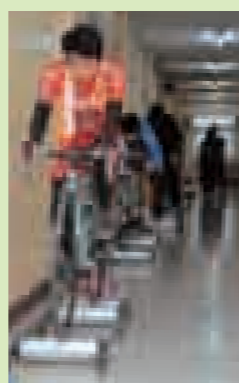
全国大会での優勝を目指して日々練習に励んでいる六郷高等学校自転車競技部の皆さん。毎年のようにインターハイに出場していますが、入部する1年生は全員が初心者です。今年是新入部員3名を迎え、総勢7名で新体制をスタートさせました。

現在は、5月中旬に岩手県で開催されるロードレースの大会を控え、3年生が新入部員の指導を行いながら練習をしています。監督の齊藤祐一郎先生は「岩手県で行われる大会はレース型式で実力を試すことができる貴重な機会。県大会、東北大会、インターハイを本番ととらえ、準備しています」と語ります。

この日は雨のため、校舎の廊下でローラー台を使って練習が行われました。ローラー台に乗って40分間ペダルをこぎ続けた後、30秒ほど全速力でペダルをこぐ「もがき」という練習方法を何度か繰り返す部員の皆さん。廊下にはローラーが回転する音がひたすら響き渡ります。

インターハイまで残り3カ月。キャプテンの田村亮二さんと副キャプテンの伊藤祐太さんは、入部を決めたきっかけはこの質問に「地元開催のインターハイに出場するため」と話してくれました。

高校生アスリートの憧れであるインターハイに向かって、六郷高等学校自転車競技部の皆さんが今、全力で走り出します。



## 美郷の魅力をもPR 美郷町ふるさと大使



**寺田 明司 さん**  
美郷町六郷地区出身。町おこし、村おこしに長年従事する傍ら、農林省の推進する都市農村交流プロジェクトや「観光立村」(外国人の農村誘致)の委員、立正大学地球環境科学部講師を歴任。現在は地域活性化プランナーとして活躍している。神奈川県横浜市在住72歳。

美郷町ふるさと大使  
町の観光資源や物産などを広く情報発信するため、町とゆかりのある6名の方々に「美郷町ふるさと大使」を委嘱しています。大使の皆さんには、友好都市大田区で開催されるイベントの誘客や、清水・ラベンダーなどの写真が印刷された特製名刺の配布などの観光宣伝活動にご協力いただいています。

世界的に恵まれた環境にあるわが美郷!  
寺田 明司

私も「美郷町ふるさと大使」として町より任命されている。美郷の行事(竹うち、かけ唄大会、花まつりなど)と秋田県での町の位置を示した地図が載った名刺を会う人々に手渡して宣伝する。一方、他地域の情報を集めて役場へ提言する。もちろん無報酬である。

全国で「ふるさと大使制度」を導入しているのは500以上の市町村、大使の数は2万人いるといわれている。「全国ふるさと大使連絡会議」が年に一度全国大会を開催、わが美郷は清酒とサイダーを会場に持ち込み宣伝に努めている。

全国の市町村は若者が大都市へ流出し、地域は高齢化が進み活気を失っている。「ふるさと大使」が導入されている背景には、知名度の普及と活性化への知恵の情報収集にある。

私の先祖は400年前に紀州より北前船で秋田港へ、さらに雄物川を上り六郷宿に入り、東根の山から眼下に広がる平野と清水に魅了され、この地に定住を決めた。わが美郷は奥羽の山々の恩恵を受けている。20世紀は石油の時代であったが、21世紀は水の時代。世界規模で水不足による争いが起こるし、質の高い水を求めて世界が動く。わが美郷はおいしい水に恵まれている。

一方、地球は生物多様性が求められている。生物の保全と環境の維持管理に世界190カ国は知恵を絞り地球全体の環境が円滑に行くように国際会議を開く。昨年の名古屋大会では、わが国は「人と自然の共生した里山・SATOYAMA」の大切さを世界に訴えた。その里山は奥羽の山々、わが美郷の麓に広く展開している。また、町の3カ所から温泉が湧いている。

気候面では東北以北は亜寒帯になり、関東以西は温帯、さらに沖縄以南は亜熱帯となるが、近年の気候変動でわが美郷の東北地方は、人類が一番過ごしやすい。「温帯」要素が年々強くなってきている。わが美郷は気候的にも恵まれて、おいしい水や、里山など地球規模で非常に恵まれた自然環境にある。そのうえ、人々の生活は、わが固有の農村・稲作文化を基盤に日本人の原点である親切さや礼儀正しさなど温かな雰囲気につつまれている。さらに古くからの行事、祭事を維持し「観光立国・日本」の範例になる地域を形成してきている。

美郷と他地域との接点では、町内にあるJR2カ所の駅は県内各地と、首都圏の東京・横浜には長距離バスが直結し、秋田国際空港へは1時間弱の範囲内であり世界各国と往来が可能である。以上に



述べたわが美郷の環境を十分に理解し、積極的に地域性を発揮すれば「日本の美郷」、「世界の美郷」となることは間違いない。

私は旧六郷町にある実家跡地を「希望公園」として整備し、一角に小さい祠を2年前に設置した。美郷の清水がわくわく、温泉がわくわく、(住民の)心がわくわくを願って「美郷わくわく神社」と名づけた。住んでいる方々がわくわくしていなければ他地域の人は美郷には訪れません!

寺田明司さんは4月20日にご逝去されました。この記事はご本人のご遺志により掲載させていただきました。寺田さんのふるさと大使としての多大なご尽力に感謝申し上げますとともに、ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。